

令和5年11月8日

むつ市長 山本知也様

むつ市公共事業再評価委員会
会長 足達健夫

むつ市公共下水道事業の再評価に係る対応方針について(答申)

令和5年9月27日付けて、諮問のあったむつ市公共下水道事業の再評価に係る対応方針について慎重審議の結果、別紙のとおり意見を付して答申します。

答 申 書

I. むつ市公共下水道事業むつ処理区の再評価に係る対応方針について

1. 結論

これ以上の整備を行わず、計画区域を整備済みの区域へ縮小する「計画変更」とし、それ以外の区域については、合併処理浄化槽を促進することが適当であると判断します。

2. 理由

- ① 費用対効果分析の結果、費用便益比 B/C (便益項目/費用項目) が1.0以上の場合、費用対効果が高いこととなるが、再評価において1.0を下回る結果となったこと。
- ② アンケート調査を評価した結果、希望する汚水処理が「下水道」より「合併処理浄化槽」及び「現状のまま」の比率が高いこと。
- ③ 財政シミュレーションにおいて、今後の整備費用等の財政負担が大きくなっており、市議会においても財政的負担を指摘されていること。
- ④ 合併処理浄化槽が普及しており、処理能力も下水道と遜色ないものとなっていること。

3. 付帯意見

- ① 下水道整備予定区域とされていたことで、これまで浄化槽の補助金が受けられなかった地域については、浄化槽設置の補助制度の適用地域とすること。
- ② 整備済区域の普及率を上昇させるため、下水道へ接続するための排水設備工事に関する補助制度を、これまで同様、維持すること。

Ⅱ. むつ市公共下水道事業大畑処理区の再評価に係る対応方針について

1. 結論

これ以上の整備を行わず、計画区域を整備済みの区域へ縮小する「計画変更」とし、それ以外の区域については、合併処理浄化槽を促進することが適当であると判断します。

2. 理由

- ① 費用対効果分析から今後の整備を継続しても、効率性の悪さ等から費用便益比 B/C (便益項目/費用項目)が徐々に悪化すること。
- ② アンケート調査を評価した結果、希望する汚水処理が「下水道」より「合併処理浄化槽」及び「現状のまま」の比率が高いこと。
- ③ 財政シミュレーションにおいて、今後の整備費用等の財政負担が大きくなっており、市議会においても財政的負担を指摘されていること。
- ④ 合併処理浄化槽が普及しており、処理能力も下水道と遜色ないものとなっていること。

3. 付帯意見

- ① 下水道整備予定区域とされていたことで、これまで浄化槽の補助金が受けられなかった地域については、浄化槽設置の補助制度の適用地域とすること。
- ② 整備済区域の普及率を上昇させるため、下水道へ接続するための排水設備工事に関する補助制度を、これまで同様、維持すること。